



船橋市立医療センターは、救急医療及びがん医療を主体とする高度な医療を提供する東葛南部保健医療圏の中核病院として、さらなる機能強化を図るため、海老川上流地区へ移転し、令和9年度に開院する計画を進めています。

これから新しい病院が完成するまでの間、新病院建設に関する情報や状況を新病院建設Newsでお伝えしていきますので、よろしくお願いいたします。



新病院のあれこれ

なぜ建て替える必要があるの？

昭和58年の開院から40年弱経過しており、施設が手狭な状況で、設備の老朽化も深刻な状況です。船橋市民のみなさまをはじめ、地域の方の命を守るため、一日も早い建替えが必要です。

どのあたりに移転するの？

高根町、東町、米ヶ崎町などの区域で行われている海老川上流地区土地区画整理事業地区内に移転する計画です。現在の病院から直線距離で900メートル程度南の位置となります。

建替えにはどれくらいお金がかかるの？

現時点では、概算工事費として約560億円を見込んでいます。資材高騰などの影響により基本計画時から大幅に上昇しています。土地や医療機器の購入費などをあわせて、約710億円を見込んでいます。これらの費用は、引き続き精査していきます。

どんな建物になるのか決まっているの？

令和4年度に基本設計を行いました。この中で、建物の規模や配置、病院内のプランをとりまとめました。

いつ工事が始まって、いつ開院するの？

令和6年度の中ごろから工事に着手し、令和9年度中の開院を予定しています。



次号以降、新病院に関する詳しい説明などをお伝えしていきます。
次号のテーマは「医療センターってどんな病院？」を予定しています。

